



「『何でもやります』が当社のモットー。どんな仕事にも挑戦して当社でしかできないことを増やしていきたい」と話すのは、産業機械設計・製作のエフ・アイ・ティ(各務原市鵜沼各務原町)の古田貴土社長(47)。

実家が工場だった影響もあり、幼少期から物作りが好きだった古田社長が20年前に起業。他社で不要となった産業用部品を買い取

## 近況 広報部新設を見据える

り、インターネットで販売するFA機器のリユース事業で業績を伸ばし、3年前には3カ所に分かれていた各部門を集約するために新社屋を建設した。今では全国各地から医療や車関係など、さまざまな分野の注文が相次ぐ。

これまでは各地の展覧会に出品して仕事につなげることがほとんどだったが、「今後はこちらから攻めていきたい」と広報部の新設を見据える。

ほとんどの社員が古田社長より年下と若手の多い会社でもあり、「買うよりもまずは自分で作ってみてほしい。そして一つの穴でも、なぜ必要なのかと疑問に持つ力を身に付けてほしい」と社員教育にも力を入れる。